■がん領域 ■免疫疾患領域 ■神経疾患領域 ■血液疾患領域 ■眼科領域 ■その他の領域

開発パイプライン[本表]（2026 年 9 月 30 日現在）

開発コード 導入元	一般名 販売名	予定適応症 #適応拡大 （併用薬）	国/地域	予定申請時期	作用機序 モダリティ（剤形）	共同開発
申請済						
RG7446 ロシュ	アテゾリズマブ テセントリク	分子的残存病変(MRD)陽性の膀胱がんにおける術後補助療法 #	日本	2026 年 1 月	改変型抗 PD-L1 モノクローナル抗体 抗体（静注）	ロシュ
		局所進行の食道がんにおける根治的化学放射線療法後の維持療法 #	日本	2026 年 6 月		ロシュ
		高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する結腸がんにおける術後補助療法 #	日本	2026 年 8 月		ロシュ
RG6171 ロシュ	ギレデストラント酒石酸塩 ー	乳がん（アジュバント）	日本	2026 年 5 月	選択的エストロゲン受容体分解薬 低分子（経口）	ロシュ
		手術不能または再発乳がん	日本	2026 年 5 月		ロシュ
RG7159 ロシュ	オビヌツズマブ ガザイバ	特発性ネフローゼ症候群 #	日本	2026 年 5 月	ヒト化抗 CD20 モノクローナル抗体 抗体（静注）	日本新薬
－ Travere Therapeutics	スパルセンタン －	IgA 腎症	日本	2026 年 6 月	エンドセリン/アンジオテンシン II 受容体二重拮抗薬 低分子（経口）	ー
SA237/RG6168 自社創製	サトラリズマブ エンスプリング	ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患（MOGAD） #	日本	2026 年 7 月	pH 依存的結合性ヒト化抗 IL-6 レセプターモノクローナル抗体 抗体（皮下注）	ロシュ
			米国	2026 年 7 月		ロシュ
			欧州	2026 年 7 月		ロシュ
SA237/RG6168 自社創製	サトラリズマブ エンスプリング	甲状腺眼症（TED） #	米国*	2026 年 4 月	pH 依存的結合性ヒト化抗 IL-6 レセプターモノクローナル抗体 抗体（皮下注）	ロシュ
RG6321 ロシュ	ラニビズマブ （Port Delivery Platform with ranibizumab） ー	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性	日本	2026 年 6 月	ヒト化抗 VEGF モノクローナル抗体 Fab 断片 抗体（注射剤（インプラント経由））	ー
		糖尿病黄斑浮腫	日本	2026 年 6 月		ー
RG6179 ロシュ	バミキバルト ー	非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫（UME）	日本	2026 年 8 月	抗 IL-6 モノクローナル抗体 抗体（硝子体注射）	ロシュ

■がん領域 ■免疫疾患領域 ■神経疾患領域 ■血液疾患領域 ■眼科領域 ■その他の領域

開発コード 導入元	一般名 販売名	予定適応症 #適応拡大 （併用薬）	国/地域	予定申請時期	作用機序 モダリティ（剤形）	共同開発
第Ⅲ相						
AF802/RG7853 自社創製	アレクチニブ塩酸塩 アレセンサ	非小細胞肺がん（ステージⅢ）化学放射線療法後の維持療法 #	グローバル	ー	ALK 阻害剤 低分子（経口）	ロシュ
RG7446 ロシュ	アテゾリズマブ テセントリク	肝細胞がん（intermediate ステージ）# （アバスチン）#	日本	2027 年	改変型抗 PD-L1 モノクローナル抗体 抗体（静注）	ロシュ
RG7828 ロシュ	モスネツズマブ ルンスミオ	濾胞性リンパ腫[二次治療]# （レナリドミド）	日本	2026 年	抗 CD20/CD3 バイスペシフィック抗体 抗体（静注）	ロシュ
		未治療の濾胞性リンパ腫 #	日本	2029 年以降		ロシュ
RG6026 ロシュ	グロフィタマブ ー	初発大細胞型 B 細胞リンパ腫 （ポライビー）	日本	2028 年	抗 CD20/CD3 バイスペシフィック抗体 抗体（静注）	ロシュ
RG6330 ロシュ	divarasib ー	非小細胞肺がん[二次治療]	日本	2026 年	KRAS G12C 阻害剤 低分子（経口）	ロシュ
		非小細胞肺がん[一次治療]	日本	2029 年以降		ロシュ
RG6114 ロシュ	inavolisib ー	*PIK3CA* 遺伝子変異陽性・HER2 陽性乳がん［一次治療］（フェスゴ）	日本	2028 年	PI3Kα 阻害剤 低分子（経口）	ロシュ
		PIK3CA 遺伝子変異陽性乳がん（内分泌療法感受性）[一次治療] （CDK4/6 阻害剤＋レトロゾール）	日本	2029 年以降		ロシュ
RG6160 ロシュ	cevostamab ー	再発または難治性の多発性骨髄腫	日本	2029 年以降	抗 FcRH5/CD3 バイスペシフィック抗体 抗体（静注）	ロシュ
RG7159 ロシュ	オビヌツズマブ ガザイバ	ループス腎炎 #	日本	2026 年	ヒト化抗 CD20 モノクローナル抗体 抗体（静注）	日本新薬
		腎症を伴わない全身性エリテマトーデス #	日本	2027 年		日本新薬
RG6299/ASO factor B ロシュ	セーファキセルセンナトリウム ー	IgA 腎症	日本	2029 年以降	補体 B 因子 mRNA に対するアンチセンスオリゴヌクレオチド 核酸（皮下注）	ロシュ
RG6631 ロシュ	afimkibart ー	潰瘍性大腸炎	日本	2027 年	抗 TL1A 抗体 抗体（ー）	ロシュ
		クローン病	日本	2029 年以降		ロシュ

■がん領域 ■免疫疾患領域 ■神経疾患領域 ■血液疾患領域 ■眼科領域 ■その他の領域

開発コード 導入元	一般名 販売名	予定適応症 #適応拡大 （併用薬）	国/地域	予定申請時期	作用機序 モダリティ(剤形)	共同開発
SA237/RG6168 自社創製	サトラリズマブ エンスプリング	自己免疫介在性脳炎（AIE） #	グローバル	2027 年	pH 依存的結合性ヒト化抗 IL-6 レセプターモノクローナル抗体 抗体（皮下注）	ロシュ
RG6102 ロシュ	trontinemab ー	アルツハイマー病	日本	2028 年	抗アミロイドベータ/TfR1 融合蛋白 抗体（静注）	ロシュ
RG6356/SRP-9001 ロシュ	デランジストロゲン モキセパルボベク エレビジス	デュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）（歩行不能） #	日本	2029 年以降	マイクロジストロフィン遺伝子治療 遺伝子治療（静注）	Sarepta**
SKY59/RG6107 自社創製	クロバリマブ ピアスカイ	非典型溶血性尿毒症症候群(aHUS) #	グローバル	2026 年	抗補体 C5 リサイクリング抗体 抗体（皮下注）	ロシュ
ACE910/RG6013 自社創製	エミシズマブ ヘムライブラ	Ⅲ型フォン・ヴィレブランド病 #	グローバル	2027 年	抗血液凝固第 IXa/X 因子ヒト化二重特異性モノクローナル抗体 抗体（皮下注）	ロシュ
NXT007/RG6512 自社創製	zemocimig ー	血友病 A	グローバル	2028 年	抗血液凝固第Ⅸa/X 因子バイスペシフィック抗体 抗体（皮下注）	ロシュ
SA237/RG6168 自社創製	サトラリズマブ エンスプリング	甲状腺眼症（TED） #	グローバル（米国を除く）	2026 年	pH 依存的結合性ヒト化抗 IL-6 レセプターモノクローナル抗体 抗体（皮下注）	ロシュ
RG7716 ロシュ	ファリシマブ バビースモ	非増殖糖尿病網膜症（NPDR） #	日本	2028 年	抗 VEGF/抗 Ang-2 バイスペシフィック抗体 抗体（硝子体注射）	ー
RG6615 ロシュ	zilebesiran ー	高血圧症	日本	2029 年以降	アンジオテンシノーゲンに対する RNAi 治療薬 RNAi（皮下注）	アルナイラム
RG6640 ロシュ	enicepatide ー	肥満症	日本	2029 年以降	持続性 GLP-1/GIP 受容体作動薬 ペプチド（皮下注）	ロシュ
第Ⅱ相						
RG6026 ロシュ	グローフィタマブ ー	再発または難治性のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	日本	2026 年	抗 CD20/CD3 バイスペシフィック抗体 抗体（静注）	ー
		再発または難治性のマントル細胞リンパ腫	日本	2028 年		ー
DONQ52 自社創製	ー ー	セリアック病	グローバル	2029 年以降	抗 HLA-DQ2.5/グルテンペプチドマルチスペシフィック抗体 抗体（皮下注）	ー
第Ⅰ/Ⅱ相						
RG6114 ロシュ	inavolisib ー	*PIK3CA* 遺伝子変異陽性乳がん（内分泌療法抵抗性）（パルボシクリブ＋フルベストラント）	日本	2027 年	PI3Kα 阻害剤 低分子（経口）	ロシュ

■がん領域 ■免疫疾患領域 ■神経疾患領域 ■血液疾患領域 ■眼科領域 ■その他の領域

開発コード 導入元	一般名 販売名	予定適応症 #適応拡大 （併用薬）	国/地域	予定申請時期	作用機序 モダリティ(剤形)	共同開発
第Ⅰ相						
GC33 自社創製	codrituzumab ―	肝細胞がん	グローバル	―	抗グリピカン 3 ヒト化モノクローナル抗体 抗体(静注)	―
ALPS12 自社創製	clesitamig ―	固形がん	グローバル	―	抗 DLL3/CD3/CD137 トリスペシフィック抗体 抗体(静注)	―
ROSE12 自社創製	― ―	固形がん	グローバル	―	抗 CTLA-4 スイッチ抗体 抗体(静注)	―
MINT91 自社創製	― ―	固形がん	グローバル	―	― 低分子(経口)	―
AUBE00 自社創製	― ―	固形がん	グローバル	―	pan-KRAS 阻害剤 中分子 (経口)	―
AQUA07 自社創製	― ―	ALK 陽性非小細胞肺がん	グローバル	―	アロステリック ALK 阻害剤 中分子 (経口)	―
RG7421 ロシュ	コビメチニブフマル酸塩 ―	固形がん	日本	―	MEK 阻害剤 低分子(経口)	―
RAY121 自社創製	― ―	自己免疫疾患	グローバル	―	抗補体 C1s リサイクリング抗体 抗体(皮下注)	―
RG7935 ロシュ	prasinezumab ―	パーキンソン病	日本	―	抗 α-シヌクレインモノクローナル抗体 抗体(静注)	―
REVN24 自社創製	― ―	心臓手術後合併症	グローバル	―	― 低分子(静注)	―
RAY121 自社創製	― ―	―	グローバル	―	抗補体 C1s リサイクリング抗体 抗体(―)	―
開発中止						
開発コード 導入元	**一般名 販売名**	**予定適応症 #適応拡大 （併用薬）**	**国/地域**	**開発ステージ**	**作用機序 モダリティ(剤形)**	**共同開発**
RG6042 ロシュ	トミネルセン ―	ハンチントン病	日本	第Ⅱ相	*HTT* mRNA に対するアンチセンスオリゴヌクレオチド 核酸(静注)	ロシュ
GYM329/RG6237 自社創製	emugrobart ―	肥満症	グローバル	第Ⅱ相	抗潜在型ミオスタチンスイーピング抗体 抗体(皮下注)	ロシュ

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもってパイプライン入りとしています。予定適応症に記載の治療ラインおよび対象セグメントは、現時点で実施中の臨床試験に基づくものであり、最終的な添付文書上の表現を示すものではありません。* 2026 年 10 月に米国食品医薬品局(FDA)より承認を取得 ** Sarepta 社が日本を含むグローバルでの臨床試験を主導

前回公表(2026 年 6 月 30 日時点)からの変更点

がん領域

・RG7446 申請済 (高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸がんにおける術後補助療法)

・RG6160 第Ⅰ相 (再発または難治性の多発性骨髄腫) → 第Ⅲ相

・AQUA07 第Ⅰ相 (ALK 陽性非小細胞肺がん) 開発開始

神経疾患領域

・SA237/RG6168 第Ⅲ相 (ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患(MOGAD)) → 申請済

・RG6042 第Ⅱ相 (ハンチントン病)→ 開発中止

眼科領域

・RG6179 第Ⅲ相 (非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫(UME)) → 申請済

その他の領域

・GYM329/RG6237 第Ⅱ相 (肥満症) → 開発中止

開発パイプライン[別表](ロシュ以外の第三者に導出した主な自社創製品)(2026 年 9 月 30 日現在)

開発コード 導出先/自社	一般名 販売名	予定適応症 (併用薬)	ステージ 国/地域	作用機序 モダリティ(剤形)	導出先 (権利範囲)
VS-6766/CKI27	avutometinib AVMAPKI	再発の低悪性度漿液性卵巣がん (defactinib)	第Ⅲ相 グローバル	RAF/MEK clamp(遮断) 低分子(経口)	Verastem Oncology (全世界の製造・開発・販売の独占的実施権)
		転移性膵管腺がん [一次治療] (defactinib+化学療法)	第Ⅰ/Ⅱ相 米国		
-/CIM331	ネモリズマブ NEMLUVIO	原因不明の慢性そう痒症(CPUO)	第Ⅱ相 海外	抗 IL-31 レセプターA ヒト化モノクローナル抗体 抗体(皮下注射)	Galderma (日本を除く全世界の開発・販売の独占的実施権)
		全身性強皮症(SSc)	第Ⅱ相 海外		
LY3502970/OWL833	オルホルグリプロン カルシウム Foundayo	2 型糖尿病	第Ⅲ相 グローバル 申請済 米国・欧州・日本	非ペプチド型 経口 GLP-1 受容体作動薬 低分子(経口)	Eli Lilly and Company (全世界の開発・販売権)

開発コード 導出先/自社	一般名 販売名	予定適応症 (併用薬)	ステージ 国/地域	作用機序 モダリティ(剤形)	導出先 (権利範囲)
		肥満症	第Ⅲ相 グローバル 申請済 欧州・日本		
		睡眠時無呼吸症候群	第Ⅲ相 グローバル		
		高血圧症	第Ⅲ相 グローバル		
		変形性関節症	第 Ⅲ 相 グローバル		
		腹圧性尿失禁	第 Ⅲ 相 グローバル		
		主要心血管イベント(MACE)の発生に 対するオルホルグリプロンの効果の評価*	第 Ⅲ 相 グローバル		
		末梢動脈疾患	第 Ⅲ 相 グローバル		
AP306/EOS789	ー ー	高リン血症	第Ⅱb 相 中国/米国	経口リン酸輸送体阻害剤 低分子(経口)	Alebund Pharmaceuticals (全世界の製造・開発・販売の独占的実施権)

予定適応症に記載の治療ラインおよび対象セグメントは、現時点で実施中の臨床試験に基づくものであり、最終的な添付文書上の表現を示すものではありません。

*アテローム性動脈硬化性心血管疾患および/または慢性腎臓病患者

ロシュ以外の第三者に導出した主な自社創製品の研究開発活動の状況(2026 年 1 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日まで)

・非ペプチド型経口 GLP-1 受容体作動薬「LY3502970/OWL833」(一般名:オルホルグリプロンカルシウム)は、2026 年 1Q に、末梢動脈疾患を対象に第Ⅲ相国際共同治験を開始しました。また、2 型糖尿病および肥満症を対象として同年 1Q に欧州医薬品庁(EMA)に承認申請を行い、同年 2Q に肥満症を有する成人、および過体重で体重に関連する併存疾患を有する成人を対象とする承認を米国で取得するとともに、同年 2Q に 2 型糖尿病に対して米国食品医薬品局(FDA)および日本国内で承認申請を行いました。

・経口リン酸輸送体阻害剤「AP306/EOS789」は、2026 年 2Q に中国および米国において高リン血症を対象に第Ⅱb 相国際共同治験を開始しました。

・抗 IL-31 レセプターA ヒト化モノクローナル抗体「CIM331」(海外販売名:NEMLUVIO)は、2026 年 2Q に、全身性強皮症を対象に第 II 相国際共同治験を開始しました。

・RAF-MEK 分子糊「SPYK04」は、2026 年 9 月に InxMed に全世界・全適応症に対する開発・製造・販売の独占的実施権を許諾するライセンス契約を締結しました。

未承認薬・適応外薬の開発要請への対応状況（2026 年 9 月 30 日現在）

※2024 年 2 月 1 日付をもってチェプラファーム株式会社に製造販売承認承継済み

開発要請	製品	適応症など	開発状況
第4回開発要請分	ゼローダ※	神経内分泌腫瘍	開発要請に対する企業見解につき検討会議での評価待ち
	アバスチン	放射線脳壊死に起因する脳浮腫	開発要請に対する企業見解につき検討会議での評価待ち
	ミルセラ	生後 3 か月以上の小児における腎性貧血	開発要請に対する企業見解につき検討会議での評価待ち

【主要な臨床試験】

プロジェクト	予定適応症	試験デザイン	試験名	ステージ	臨床試験情報
がん領域					
AF802/RG7853 「アレセンサ」	非小細胞肺がん（ステージⅢ）化学放射線療法後の維持療法	*ALK*融合遺伝子陽性： アレセンサ vs. デュルバルマブ	HORIZON01	第Ⅲ相	NCT05170204
RG7446 「テセントリク」	肝細胞がん（intermediate ステージ）	テセントリク＋アバスチン＋肝動脈化学塞栓療法 vs. 肝動脈化学塞栓療法	TALENTACE	第Ⅲ相	NCT04712643
RG7828 「ルンスミオ」	濾胞性リンパ腫[二次治療]	ルンスミオ+レナリドミド vs. リツキサン+レナリドミド	CELESTIMO	第Ⅲ相	NCT04712097
	未治療の濾胞性リンパ腫	ルンスミオ+レナリドミド vs. リツキサン+化学療法	－	国内第Ⅲ相	jRCT2011240017
RG6026 （グローフィタマブ）	初発大細胞型 B 細胞リンパ腫	RG6026 + ポライビー + リツキサン+化学療法 vs. ポライビー + リツキサン + 化学療法	SKYGLO	第Ⅲ相	NCT06047080
	再発または難治性のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	RG6026 + ゲムシタビン + オキサリプラチン（GemOx）併用療法(単群)	―	国内第Ⅱ相	jRCT2051250036
	再発または難治性のマントル細胞リンパ腫	RG6026(単群)			
RG6330 （divarasib）	非小細胞肺がん[二次治療]	RG6330 vs. sotorasib or adagrasib	Krascendo 1	第Ⅲ相	NCT06497556
	非小細胞肺がん[一次治療]	RG6330 + ペムブロリズマブ vs ペムブロリズマブ + 化学療法	Krascendo 2	第Ⅲ相	NCT06793215
RG6114 （inavolisib）	*PIK3CA* 遺伝子変異陽性・HER2 陽性乳がん [一次治療]	RG6114 + フェスゴ vs プラセボ + フェスゴ	INAVO122	第Ⅲ相	NCT05894239
	PIK3CA 遺伝子変異陽性乳がん（内分泌療法感受性）[一次治療]	RG6114 + CDK4/6 阻害剤 + レトロゾール vs プラセボ + CDK4/6 阻害剤 + レトロゾール	INAVO123	第Ⅲ相	NCT06790693
	PIK3CA 遺伝子変異陽性乳がん（内分泌療法抵抗性）	RG6114 + パルボシクリブ + フルベストラント（単群）	―	国内第Ⅰ／Ⅱ相	jRCT2031250161
RG6160 （cevostamab）	再発または難治性の多発性骨髄腫	RG6160 + ポマリドミド＋デキサメタゾン併用療法 vs 標準療法	CEVOLUTION	第Ⅲ相	NCT07555938

プロジェクト	予定適応症	試験デザイン	試験名	ステージ	臨床試験情報
免疫疾患領域					
RG7159 「ガザイバ」	ループス腎炎	標準治療±ガザイバ	−	国内第Ⅲ相	jRCT2011210059
	腎症を伴わない全身性エリテマトーデス	ガザイバ vs. プラセボ	−	国内第Ⅲ相	jRCT2071230031
RG6299（セーファキセルセンナトリウム）	IgA 腎症	RG6299 vs. プラセボ	IMAgINATION	第Ⅲ相	NCT05797610
RG6631 (afimkibart)	潰瘍性大腸炎	RG6631 vs. プラセボ	Ametrine-1	第Ⅲ相	NCT06589986
	クローン病	RG6631 vs. プラセボ	SIBERITE-1	第Ⅲ相	NCT06819878
神経疾患領域					
SA237/RG6168 「エンスプリング」	自己免疫介在性脳炎	エンスプリング vs. プラセボ	CIELO	第Ⅲ相	NCT05503264
RG6356 「エレビジス」	デュシェンヌ型筋ジストロフィー(歩行不能)	エレビジス vs. プラセボ	ENVISION	第Ⅲ相	NCT05881408
RG6102 (trontinemab)	アルツハイマー病	RG6102 vs. プラセボ	TRONTIER 1 / TRONTIER 2	第Ⅲ相	NCT07169578 NCT07170150
血液疾患領域					
SKY59/RG6107 「ピアスカイ」	非典型溶血性尿毒症症候群	ピアスカイ(単群)	COMMUTE-a	第Ⅲ相	NCT04861259
		ピアスカイ(単群)	COMMUTE-p	第Ⅲ相	NCT04958265
ACE910/RG6013 「ヘムライブラ」	Ⅲ型フォン・ヴィレブランド病	ヘムライブラ vs. オンデマンド療法（標準治療）	WILL-EMI	第Ⅲ相	NCT06998524
NXT007/RG6512 (zemocimig)	血友病 A	zemocimig vs. 血液凝固第 VIII 因子製剤	ZEBRHA 1	第Ⅲ相	NCT07416526 2025-522434-32-00
		zemocimig vs. ヘムライブラ	ZEBRHA 2	第Ⅲ相	NCT07416604 2025-522435-33-00
眼科領域					
RG7716 「バビースモ」	非増殖糖尿病網膜症	RG7716 vs. sham	AZUSA	国内第Ⅲ相	jRCT2071250009
その他の領域					
RG6615 （zilebesiran）	高血圧症	RG6615 vs. プラセボ	ZENITH	第Ⅲ相	NCT07181109

プロジェクト	予定適応症	試験デザイン	試験名	ステージ	臨床試験情報
RG6640 (enicepatide)	肥満症	RG6640 vs. プラセボ	Enith1 / Enith2	第Ⅲ相	NCT07351045 NCT07351058

予定適応症に記載の治療ラインおよび対象セグメントは、現時点で実施中の臨床試験に基づくものであり、最終的な添付文書上の表現を示すものではありません。

【自社創製品の臨床試験】 ※開発パイプラインのうち、主要な臨床試験に記載の試験は除く。中外またはロシュ主導の臨床試験のみ記載

プロジェクト	予定適応症	ステージ	被験者数* （2026 年 9 月 30 日時点）	開発開始時期	臨床試験情報
がん領域					
GC33	肝細胞がん	第Ⅰ相	27 名	2008 年 11 月	NCT00746317
		第Ⅰ相	42 名	2009 年 10 月	NCT00976170
		国内第Ⅰ相	18 名	2010 年 10 月	jRCT2080221218
		第Ⅱ相	185 名	2012 年 5 月	NCT01507168
		第Ⅰ相	27 名	2016 年 8 月	jRCT2080223270
ALPS12 (clesitamig)	固形がん	第Ⅰ相	122 名	2025 年 10 月	NCT07107490
ROSE12	固形がん	第Ⅰa/Ⅰb相	209 名	2023 年 6 月	NCT05907980
MINT91	固形がん	第Ⅰ相	122 名	2025 年 4 月	jRCT2031240713
AUBE00	固形がん	第Ⅰ相	130 名	2025 年 6 月	jRCT2031250094
AQUA07	ALK 陽性非小細胞肺がん	第Ⅰ相	102 名	2026 年 7 月	NCT07617337
免疫疾患領域					
DONQ52	セリアック病	第Ⅱ相	92 名	2026 年 4 月	NCT07239336
RAY121	自己免疫疾患	第Ⅰb相	144 名	2024 年 8 月	NCT06723106
その他の領域					
REVN24	心臓手術後合併症	国内第Ⅰ相（健康成人のみ）	210 名	2023 年 10 月	jRCT2071230074
RAY121	–	第Ⅰ相（健康成人のみ）	36 名	2025 年 3 月	2024-515151-38-00

*被験者数は公開情報に基づいて掲載しており、原則、予定もしくは実績を示しています

FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル：コンパニオン診断機能の状況 （2026 年 9 月 30 日現在）

遺伝子変異等	がん種	関連する医薬品
活性型 *EGFR* 遺伝子変異	非小細胞肺癌	アファチニブマレイン酸塩、エルロチニブ塩酸塩、ゲフィチニブ、オシメルチニブメシル酸塩
EGFR エクソン 20 T790M 変異		オシメルチニブメシル酸塩
ALK 融合遺伝子		アレクチニブ塩酸塩、クリゾチニブ、セリチニブ、ブリグチニブ、ロルラチニブ
ROS1 融合遺伝子		エヌトレクチニブ
MET 遺伝子エクソン 14 スキッピング変異		カプマチニブ塩酸塩水和物
BRAF V600E 及び V600K 変異	悪性黒色腫	ダブラフェニブメシル酸塩、トラメチニブ ジメチルスルホキシド付加物、ベムラフェニブ、エンコラフェニブ、ビニメチニブ
BRAF V600 変異及び *BRAF* 融合遺伝子	神経膠腫	トボラフェニブ
ERBB2 コピー数異常 （HER2 遺伝子増幅陽性）	乳癌	トラスツズマブ（遺伝子組換え）
AKT1 遺伝子変異		カピバセルチブ
PIK3CA 遺伝子変異		
PTEN 遺伝子変異		
KRAS/NRAS 野生型	結腸・直腸癌	セツキシマブ（遺伝子組換え）、パニツムマブ（遺伝子組換え）
高頻度マイクロサテライト不安定性		ニボルマブ（遺伝子組換え）
高頻度マイクロサテライト不安定性	固形癌	ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）
腫瘍遺伝子変異量高スコア		ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）
NTRK1/2/3 融合遺伝子		エヌトレクチニブ、ラロトレクチニブ硫酸塩、レポトレクチニブ
RET 融合遺伝子		セルペルカチニブ
ALK 融合遺伝子		アレクチニブ塩酸塩
BRCA1/2 遺伝子変異	卵巣癌	オラパリブ
BRCA1/2 遺伝子変異	前立腺癌	オラパリブ
FGFR2 融合遺伝子	胆道癌	ペミガチニブ

FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル：コンパニオン診断機能の状況 （2026 年 9 月 30 日現在）

遺伝子変異等	がん種	関連する医薬品
活性型 *EGFR* 遺伝子変異	非小細胞肺癌	アファチニブマレイン酸塩、エルロチニブ塩酸塩、ゲフィチニブ、オシメルチニブメシル酸塩
EGFR エクソン 20 T790M 変異		オシメルチニブメシル酸塩
ALK 融合遺伝子		アレクチニブ塩酸塩、クリゾチニブ、セリチニブ
ROS1 融合遺伝子		エヌトレクチニブ
MET 遺伝子エクソン 14 スキッピング変異		カプマチニブ塩酸塩水和物
NTRK1/2/3 融合遺伝子	固形癌	エヌトレクチニブ
BRCA1/2 遺伝子変異	前立腺癌	オラパリブ